

各事例の詳細について

平成 22 年 5 月 16 日
農 林 水 産 省

番号	確認場所	経営状態	飼育頭数	位置	経過等	検査結果 陽性 (16日夜 判明)
102	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	52頭 (繁殖牛28頭 育成牛1頭 子牛23頭)	73例目の 農場から 東約1.5km	・5月15日、農場主から宮崎県対し、飼養牛の1頭に発熱、流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭に流涎、びらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
103	児湯郡川南町	養豚	1211頭 (繁殖豚134頭 種雄豚19頭 育成豚8頭 肥育豚451頭 子豚599頭)	5例目の 農場から 北西約200m	・5月15日、農協職員から宮崎県に対し、飼養豚の1頭に発熱、水疱を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭に水疱、潰瘍を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
104	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	14頭 (繁殖牛6頭 育成牛2頭 子牛6頭)	77例目の 農場から 南東約400m	・5月15日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛の流涎、びらん等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に水疱等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	2頭
105	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	15頭 (繁殖牛8頭 子牛7頭)	33例目の 農場から 南西約300m	・5月15日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛の流涎を確認したと届出 ・同日、立ち入り、4頭に口腔内のびらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	2頭
106	児湯郡川南町	養豚	594頭 (繁殖豚88頭 種雄豚6頭 子豚500頭)	74例目の 農場から 西約100m	・5月15日、農場主から宮崎県に対し、飼養豚の1頭に発熱、蹄の水疱を確認したと届出 ・同日立ち入り、1頭に水疱、びらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	2頭
107	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	53頭 (繁殖牛28頭 育成牛3頭 子牛22頭)	47例目の 農場から 北西約250m	・5月15日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛の1頭に流涎等が確認したと届出 ・同日立ち入り、5頭に流涎、水疱等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
108	児湯郡都農町	肉用牛繁殖	9頭 (繁殖牛4頭 育成牛1頭 子牛4頭)	87例目の 農場から 北約1.5km	・5月15日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛の1頭に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭に流涎、びらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
109	児湯郡川南町	養豚	1112頭 (繁殖豚162頭 種雄豚8頭 育成豚4頭 肥育豚310頭 子豚628頭)	74例目の 農場から 西約100m	・5月15日、農場主から宮崎県に対し、飼養豚に水疱を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に水疱、びらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	2頭
110	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	32頭 (繁殖牛15頭 育成牛3頭 子牛14頭)	69例目の 農場から 南東約100m	・5月15日、農協職員から宮崎県に対し、飼養牛の1頭に発熱、水疱等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭に水疱、発熱等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
111	児湯郡高鍋町	酪農・肉用牛 複合	220頭 (肉用牛121頭 交雑牛21頭 乳用牛76頭 山羊2頭)	101例目の 農場から 北約950m	・5月15日、農場職員から宮崎県に対し、飼養牛の発熱、流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、2頭に水疱、びらん等を確認 ・5月16日、検体を動物衛生研究所に送付	2頭